

製品名: FA2H ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10744**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	FA2H
別名	Fatty acid 2-hydroxylase (EC 1.-.-.) (Fatty acid alpha-hydroxylase)
遺伝子 ID	79152.0
SwissProt ID	Q7L5A8
免疫原	ヒト FA2H 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 101-150

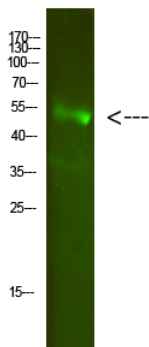
背景

この遺伝子は、2-ヒドロキシスフィンゴ脂質（2-ヒドロキシ脂肪酸を含むスフィンゴ脂質のサブセット）の合成を触媒するタンパク質をコードします。スフィンゴ脂質は多くの細胞プロセスにおいて役割を果たしており、その構造多様性は、疎水性セラミド部分の

修飾（N-アシル鎖の2-ヒドロキシ化など）や、多様なヘッドグループの存在に起因しています。この遺伝子の変異は、ジストニアの有無にかかわらず、痙性対麻痺を伴う白質ジストロフィー性髄鞘形成不全症（DLDSP）と関連付けられています。[RefSeq 提供、2010年3月]、補因子：鉄、疾患：FA2Hの欠陥は、ジストニアの有無にかかわらず、痙性対麻痺を伴う白質ジストロフィー性髄鞘形成不全症（DLDSP）の原因です[MIM:612443]。この疾患は、痙性、筋緊張異常、および白質変性を呈する進行性神経疾患です。、ドメイン：ヒスチジンボックスドメインは、活性部位を含む可能性があり、金属イオン結合に関与している可能性があります。、機能：遊離脂肪酸の α -ヒドロキシ化および α -ヒドロキシ化スフィンゴ脂質の形成に必要です。、誘導：ケラチノサイトの分化中にアップレギュレーションされます。、類似性：SCS7ファミリーに属します。、類似性：1つのシトクロム b5 ヘム結合ドメインを含みます。、組織特異性：分化中の培養ケラチノサイトで検出されます（タンパク質レベル）。表皮および培養ケラチノサイトで検出されます。脳および結腸で高発現しています。精巣、前立腺、膵臓、腎臓でも低レベルで検出されます。、

研究分野

画像データ



FA2H ウサギポリクローナル抗体（1:2000 希釈、4°C、一晚）を用いたマウス心臓細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体：ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800（1:5000 希釈、25°C、1 時間）